

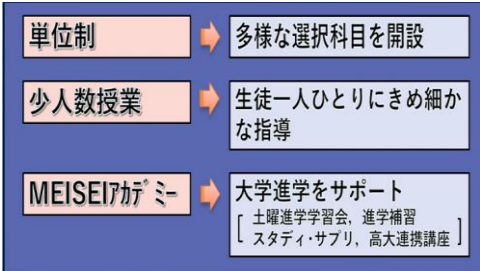
印旛明誠 上昇中!

校長 井上 愛一郎

印旛明誠高校は、前身である印旛高校109年の歴史と伝統を受け継ぎ、草深い地に移転・開校し、早7年の歳月が経ちました。この間、保護者や地域、同窓会の皆様の熱いご支援に支えられ、教職員と生徒が一丸となり、開校理念の実現に向け取り組んでまいりました。

理念1 進学重視の単位制高校

理念1の実現に向けては、左図のような取組を進めています。「単位制」は、多様な選択科目を開設することにより、生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応した授業を提供しています。「少人数授業」は、一クラスあたり20〜25人でクラス編制をし、一人一人の学力に応じたきめ細かな指導を行っています。1週間の授業の内2/3は少人数授業となっています。「MEISEIアカデミー」は、本校独自の取組であり、



希望者に対して、授業外で大学進学をサポートするものです。土曜日や朝・放課後に講座を開設し、大学進学に特化した学習を行っています。もちろん長期休業中も行います。

このような取組の結果、大学への進学実績も年々上がってきました。今春は、千葉・茨城・弘前と国立大学に現役で3名の合格者を出し、私立大学にも、立教・法政・学習院を始め多くの合格者を出すことができました。本校の一番の特徴は、入学後の伸びが大きいところです。それだけ職員が生徒の面倒を見ています。今後も生徒一人一人の進路希望実現のため、生徒の面倒をしつかりと見て、その力を伸ばしていきたいと考えています。そして、「進学重視の単位制高校」として、地域に広く認知されるようにしたいと考えています。

理念2 国際化に対応した高校

理念2の実現に向けては、二年次に台湾修学旅行を実施しています。海外修学旅行は、本校開校以来の伝統です。訪問先では、台北市内にある内湖高級工業職業学校との交流や台湾人の学生ガイドと一緒に台北市内観光等を行っています。初めて海外を経験する生徒も多く、旅行後の感想では、日本の良さを実感するとともに、コミュニケーションの重要性や外国語学習の必

要性に気付く等、生徒にとつて貴重な経験になっていくことが分かります。これらの経験を基に、「外国のことをさらに学びたい、外国の人と積極的に交流したい」という態度や行動につなげていきたいと考えています。



(ソーラン節を披露する本校生徒)

また、国際交流活動として、来日している海外の団体等を受け入れたり、国際理解教育に関する講演会を開催したりしています。

理念3 地域の特性を最大限に活用して人材を育てる高校

本校では、地域の関係機関や団体等と連携し、生徒がボランティアとして地域の活動に参加させていただいています。平成28年度は、選挙事務体験や共同募金、学童訪問、各種大会・市民まつりへの参加等々、のべ196名の生徒が地域の活動に関わりました。また、地域の団体等が本校を訪れ、交流することもできました。地域の活動に参加する中で、生徒が社会性を身に付けるとともに、自己有

用感を持つことは、社会で活躍するために必要な資質と考えます。今後も積極的に地域との関わりを持っていきたいと考えています。

以上のように、理念の実現を目指し取り組んできた結果、生徒や保護者の学校生活に対する満足度も高くなってきています。およそ90%近くの生徒や保護者が本校に入学して良かったと評価しています。前年度比2〜4ポイントの増加です。「生徒が通いたい学校」、「保護者が通わせたい学校」になってきていることを実感します。

現在、「単位制の更なる充実」を図るため、校地東側に校舎の増築工事を行っています。鉄筋コンクリート造2階建てで、来年度供用開始の予定です。これを機に、更に印旛明誠高校を発展させたいと考えております。保護者や地域の皆様、関係者の皆様には変わらぬ熱いご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

項目	A	B	C	D	肯定	否定
生徒						
保護者						

(H28 学校評価アンケートより)